

臨床研究 「乳児早期の人工乳と牛乳アレルギー発症の関係についての実態調査」について

筑波大学附属病院 小児内科・筑波大学医学医療系 遺伝医学・筑波メディカルセンター病院では、表題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

食物アレルギーは乳幼児が罹患する病気の中でも多く、乳児の10%程度が持っているといわれています。しかし、乳児の哺乳状況と食物アレルギーの関係について一定の見解は得られていません。しかし、乳児の哺乳について推奨されるべき方法を検討し、食物アレルギーの発症を予防することは重要です。そこで我々は乳児の哺乳状況と食物アレルギーの摂取状況について調査しています。

② 研究対象者

1. 2020年10月から2022年9月に当院で出生した生後7日以内の新生児
2. 臨床研究「食物アレルギーの発症における腸内微生物叢の役割の解明」の研究で、文書により同意をいただいた研究参加者様

③ 研究期間：倫理委員会承認後～2026年3月31日

④ 研究の方法

症状や哺乳状況などに関するアンケートを用いて調査します。また、採取した便、唾液、血液などの検体を用いて、免疫学的解析、微生物叢解析、メタボローム解析などを行います。研究の成果は、個人情報が入らないように匿名化した上で、学会発表や学術雑誌などで公表することがあります。

⑤ 試料・情報の項目

便・唾液から抽出されたDNAの解析から得られた細菌叢と臨床症状、アンケートにお答えいただいた項目

⑥ 利用する者の範囲：筑波大学附属病院・筑波大学医学医療系の構成員のうち、

倫理委員会で承認が得られているもの

⑦ 研究代表者

研究責任者：筑波大学附属病院小児内科 日高大介

研究分担者：宮園 弥生、金井 雄、竹内 秀輔、永藤 元道、原 モナミ、
高田英俊

連携研究者：竹田 一則、野口 恵美子、鈴木 寿人

⑧ 共同研究機関名および責任者名

筑波メディカルセンター病院 林大輔

獨協医科大学 吉原重見

宮城県立こども病院 三浦克

同愛記念病院 白川清吾

筑波学園病院 牧たか子

大阪府済生会中津病院 平口雪子

なないろレディースクリニック 黒田勇二

⑨ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用または提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院小児内科

住所：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

本研究の責任医師：日高 大介、原 モナミ

連絡先：029-853-5635 （平日 10：00～16：00）